

韓国留学体験（現地）レポート

21015009 石塚夏美

韓国留学では勉強に励むことはもちろん、観光地巡りや文化体験など留学ならではの体験をすることも目標とした。

観光地巡りでは仁寺洞にある景福宮や昔の家屋がある韓屋村などへ行った。どこも韓国の歴史を感じることが出来る場所である。景福宮へ行った際、韓服を着て行った。韓服をレンタルしているお店があり、そこで自分の好きな物を選んで着ることが出来た。着付けや髪型のセットもお店の人がしてくれる。韓服を着ていくと景福宮へ無料で入ることが可能である。韓服を着ている人があまり多くなかった為、多くの観光客が「一緒に写真を撮ろう」と声をかけてくれた。景福宮の前には光化門やハングルを作ったテジョン大王の像などがあり、見どころがたくさんあった。食堂や屋台、お土産屋さんもたくさんあり観光に適していた。

また、蚕室にあるロッテワールドという室内遊園地は、半日で回ることができ、天気も気にせず遊べる点が良かった。学生証を提示すれば割引をしてくれる。それから、無料で開催しているコンサートや授賞式などが多くあった。キョンヒ大学の平和の殿堂が会場になることも多く、学生証を見せれば入場できた。日本より近くで見ることが出来て良かった。このような体験は留学ならでないかと考えた。韓国は地下鉄やバスの料金が日本より安いので、いろいろな場所へ行くことが可能であった。

食事は、辛いものが多かったが、辛い食べ物が苦手な人でも食べられる食事も多いように感じられた。店員さんに「辛くしないでください」と頼めば辛くないようにしてくれる。また、注文するとき辛いけど大丈夫かと聞いてくれるお店もあり、辛いものは苦手だと伝えれば辛くないようにしてくれる。しかし、韓国人と日本人の辛さの基準が違う為、辛くないと言われて食べたのに、食べたらずかかったということが何回かあった。デザートや飲み物などは日本より甘いものが多いように感じた。

それから、お店で服を見たりしていると、日本語や中国語で話しかけてくる韓国人がとても多かった。こちらが韓国語を話せることが分ると、韓国語で接客をしてくれたので勉強になった。また、街で韓国語を使っていると、韓国語で話しかけてくれる人が多くおり、たくさん会話をすることが出来た。

日本語を話せるクラスメイトがおり、日本語で話しかけてくれたり、日本語のメッセージをくれるのがとても可愛かった。また、日本のアニメや音楽が好きな人も多く、さまざまな人が日本を好きと言ってきて嬉しく感じたのと同時に、日本のこともさらに好きになれた。

他にもしたいことはたくさんあったが、様々な体験・経験が出来てとても充実した留学生活を送れたように思われた。